

# 展覧会プレスリリース

## 杉浦非水の世界

レトロ・モダン・おしやれ



『みつこタイムス』第8巻第5号表紙（部分）1910年5月1日 ヤマザキマザック美術館

2023年10月27日(金) ≫

2024年2月25日(日)

**M** ヤマザキマザック美術館  
THE YAMAZAKI MAZAK MUSEUM OF ART  
〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵 1-19-30  
地下鉄東山線「新栄町」1番出口直結  
TEL : 052-937-3737

特別展

## 「レトロモダンおしゃれ 杉浦非水の世界」のご案内

ヤマザキマザック美術館は、初代美術館館長山崎照幸(1928-2011)の収集したフランス美術300年の流れを一望できるコレクションを公開するための美術館として、2010年4月23日にオープンいたしました。今年で開館13年となります。美術館の母体である「ヤマザキマザック株式会社」は、金属部品加工の工作機械を製造するグローバルカンパニーです。工作機械は、先端産業である自動車、航空機、船舶、人工衛星や、時計、携帯電話、人工骨などの金属部品を加工する機械で、世界中の製造業の基盤を支えています。

当館は、10月27日から2024年2月25日まで「レトロ・モダン・おしゃれ 杉浦非水の世界」展を開催いたします。この展覧会では、日本のグラフィックデザインの先駆者、<sup>すぎうらひすい</sup>杉浦非水(1876-1965)の生きた時代と足跡を約240点の作品によってご紹介いたします。非水の多彩なデザイン世界を堪能していただければ幸いです。

2023年8月

ヤマザキマザック美術館



『三越』第22巻第11号 1932年 印刷・紙 ヤマザキマザック美術館

## 本紙の内容

企画展概要

企画主旨

見どころ

主な出品作品

会期中のイベント情報

情報掲載用画像・プレゼント用招待券利用申込書

美術館案内

**企画展概要**

1. 展覧会名：「レトロ・モダン・おしゃれ 杉浦非水の世界」
2. 会期：2023年10月27日(金)～2024年2月25日(日)  
※状況によっては会期等開催内容が変更となる場合があります。  
最新情報につきましては当館ホームページの「お知らせ」欄でご確認ください。
3. 会場：ヤマザキマザック美術館 4階展示室  
461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-19-30(地下鉄東山線「新栄町」下車/1番出口直結)  
TEL 052-937-3737 URL [www.mazak-art.com](http://www.mazak-art.com)
4. 開館時間：平日 10:00～17:30 / 土日祝 10:00～17:00 ※入館は閉館の30分前まで
5. 休館日：月曜日(1月8日、2月12日は開館)、1月9日(火)、2月13日(火)  
年末年始(12月29日～1月4日)
6. 入館料：一般1,300円(10名様以上1,100円)、小・中・高生500円、小学生未満無料  
〔音声ガイド無料サービス〕
7. 主催：ヤマザキマザック美術館、中日新聞社  
特別協力：愛媛県美術館  
協力：株式会社カセットミュージアム  
後援：愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、  
名古屋市教育委員会、名古屋市文化振興事業団
8. 記者発表会：2023年10月27日(金) 14:00～15:00(13:45より1階で受付開始)
9. 連絡先  
ヤマザキマザック美術館  
展覧会担当学芸員 吉村有子 Yuko\_Yoshimura@mazak.co.jp  
広報担当 西川由佳里 Yukari\_Nishikawa@mazak.co.jp

## 企画主旨

このたび、ヤマザキマザック美術館におきまして、「レトロ・モダン・おしゃれ 杉浦非水の世界」展を開催いたします。

日本のグラフィックデザインの先駆者、<sup>すぎうらひすい</sup>杉浦非水(1876-1965)。多摩帝国美術学校(現多摩美術大学)初代校長としても知られています。愛媛県松山市出身の非水は東京美術学校日本画科を卒業後、師と仰いだ近代洋画の巨匠、<sup>くろだせいき</sup>黒田清輝がフランスから持ち帰った 1900 年パリ万国博覧会の絵葉書や資料等によってアール・ヌーヴォーのデザインを知り、さらに 1922-24(大正 11-13)年のヨーロッパ留学によってアール・デコをはじめとするヨーロッパ美術・デザインの潮流に触れました。

非水は様々な影響を受けながらも、特徴を的確に捉える鋭い観察眼、時に繊細優美、時に大胆で力強い変幻自在な作風で、カルピスやヤマサ醤油、東京地下鉄道(現東京メトロ)、鉄道省(現 JR)名古屋鉄道局などのポスター、ジャパン・ツーリスト・ビューロー(現 JTB、日本交通公社)の機関誌『ツーリスト』、たばこのパッケージなど数々の名デザインを生み出し、近代化されていく日本の商業世界を彩りました。特に三越との結びつきは強く、1908(明治 41)年の入社以降 1934(昭和 9)年の退社まで、三越のポスターや広報誌『みつこしタイムス』『三越』などのデザインを一手に引き受け、「三越の非水か、非水の三越か」と言われたほどでした。



杉浦非水 [1913(大正 2 年頃)]

この展覧会では、ポスターや書籍・雑誌のデザイン、広告・商標・パッケージデザイン、写生を旨とした非水が丹精込めて制作した木版画集『非水百花譜』など数多くの作品を分野別に展覧し、非水の魅力に迫ります。また、非水の旅行鞆やヨーロッパ日記、滞欧スケッチ、『三越』表紙デザインを柄模様とした長襦袢、非水のポスター中の女性をほうふつとさせるレセプション・ドレスやシャネルのデイ・スーツなども合わせて展示。非水が憧れ、旅した 100 年前のフランスの邸宅を思わせる当館 4 階展示室で、非水の生きた時代と足跡を約 240 点の作品によって多面的にご紹介いたします。

\*出品作品のうち約 7 割の作品は前期・後期で展示替をいたします。



## 見どころ

## ① 非水が表紙をデザインした三越広報誌の数々が大集合！

『みつこしタイムス』『三越』『大阪の三越』『時計と指輪』『御注文の栞』…。非水が表紙デザインをてがけた、三越の広報誌の数々は単なる広報誌というだけでなく、通信販売カタログの役割も果たしており、まさに三越の顔ともいえるべき存在でした。都会だけでなく、地方にまで届けられ、最新流行の上質な品々がそろそろ三越のブランドイメージを定着させていたのです。本展では、69冊の三越広報誌を前期・後期に分けてご紹介いたします。時にファッションブルな、時に季節感あふれる、時に絵本の挿絵のような、美しい表紙絵の数々をお楽しみ頂きます。

## ② 隠れた名品『非水百花譜』45点を展示！

デザインを本業としながらも、制作の基本として写生を大切にしていた非水。その非水が原画を描き、完成させた木版画集『非水百花譜』のうち、愛媛県美術館御所蔵の45点を、前期・後期に分けて展示いたします。こまやかな描写と繊細な色彩で表された花々には、植物図鑑的な正確さがあるのみならず、それぞれの花々の持つ情趣や可憐さ、力強さが生き生きと表され、私たちに魅了します。

## ③ 非水のデザインをもとに制作された長襦袢をご紹介！

非水の『三越』第3巻第8号(1913年8月刊行)表紙デザインがそのまま使われており、大変モダンなデザインの長襦袢をご紹介いたします！この長襦袢の元々の持ち主は島根県出雲市の造り酒屋の令嬢で、1916(大正5)年に鳥取県鳥取市に嫁いだ女性。婚礼に際して仕立ててもらった数多くの着物類のうちの一着だそうです。非水のデザインが着物に活かされているものは非常に稀なので、必見です。

## ④ 約100年前の長良川鶺鴒の観光ポスターをご紹介！

鉄道省(現 JR)名古屋鉄道局と岐阜市の依頼で、非水がデザインした長良川の鶺鴒のポスター2点(前期・後期1点ずつ)をご紹介いたします！非水が制作したのは今から94年前の1929年。長良川の水面に勢揃いした鶺鴒舟と屋形船(観覧船)。暗い山脈や川面を背景に幾重にもたなびく白い煙を単純化して表現し、写真とはひと味もふた味も異なる迫力が感じられます。

主な出品作品



《三越呉服店 春の新柄陳列会(みつこしタイムス)》  
1914年 リトグラフ・紙 愛媛県美術館  
\*通期展示予定



《三越呉服店 新館落成》1914年 リトグラフ・紙 愛媛県美術館  
\*前期展示予定



《東洋唯一の地下鐵道 上野淺草間開通》1927年 オフセット・紙  
京都工芸纖維大学美術工芸資料館 AN.2694-01 \*通期展示予定



《銀座三越 四月十日開店》1930年 オフセット・紙 愛媛県美術館  
\*通期展示予定





《岐阜長良川鶴飼と納涼》1929年 オフセット・紙 愛媛県美術館  
\*前期展示予定



《爽快美味滋強飲料 カルピス》1926年 リトグラフ・紙 愛媛県美術館  
\*後期展示予定



『みつしま』第8巻第5号 1910年 印刷・紙 ヤマザキマザック  
美術館 \*通期展示予定



『三越』第6巻第2号 1916年 印刷・紙 ヤマザキマザック美術館  
\*通期展示予定





『大阪の三越』第5年第5号 1929年 印刷・紙 ヤマザキマザック美術館 \*通期展示予定



『ツーリスト』第19年第2号 1931年 印刷・紙 ヤマザキマザック美術館 \*通期展示予定





《もくれん 木蓮》(『非水百花譜』第三輯) 1929-34年 木版・紙 愛媛県美術館  
\*前期展示予定



《はす 蓮》(『非水百花譜』第六輯)1929-34年 木版・紙 愛媛県美術館  
\*後期展示予定



《白地鈴蘭に鳥模様長襦袢》 1913-16年頃 染・絹(縮緬) 神戸ファッション美術館 \*通期展示予定

特別展 「レトロ・モダン・おしゃれ 杉浦非水の世界」(2023/10/27～2024/2/25)  
情報掲載用画像・読者プレゼント用招待券利用申込書

- ・「杉浦非水の世界」展の情報掲載の際に、下記の画像をご使用いただくことができます。  
 ※展覧会終了後は使用することができません。
- ・画像をご使用の際は必ずキャプションを併記願います。
- ・画像はトリミングや字のせなどの加工をせずにそのままの形でお使いください。

貴社名		ご担当者名											
媒体名	<input checked="" type="checkbox"/> をお入れください。 <input type="checkbox"/> 紙媒体 <input type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> その他 ( )												
画像番号	次ページの画像一覧をご参照のうえ、掲載を希望される画像の番号に○をお付けください。 担当者が申込書を確認の後、データをご提供致します。												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ご住所	〒												
ご連絡先	TEL	FAX						MAIL					
ご掲載予定日	*保管用に見本誌を1部お送りいただけますと幸いです。												

- ・画像を使用して展覧会情報をご掲載いただける場合、読者プレゼント用に招待券をご提供可能です。  
 下記に○を付けてご回答ください。  
 → 招待券の提供を ( 希望する ・ 希望しない )  
 ↳ 必要枚数は ( 3組6名分 ・ 5組10名分 )

**掲載用展覧会概要文** \*記事作成の際にご活用ください。

[300文字程度]

日本のグラフィックデザインの先駆者、<sup>すぎうらひすい</sup>杉浦非水(1876-1965)。アール・ヌーヴォーやアール・デコなどの影響を受けつつ、カルピスやヤマサ醤油、東京地下鉄道、鉄道省名古屋鉄道局などのポスター、ジャパン・ツーリスト・ビューローの機関誌『ツーリスト』、たばこのパッケージなど数々の名デザインを生み出しました。特に三越との結びつきは強く、三越のポスターや広報誌のデザインを一手に引き受け、「三越の非水か、非水の三越か」と言われたほどでした。

この展覧会では、ポスターや書籍・雑誌のデザイン、広告・商標・パッケージデザイン、木版画集『非水百花譜』など約240点の作品(前期後期展示替有り)を分野別に展覧し、非水の魅力に迫ります。

[100文字程度]

日本のグラフィックデザインの先駆者、<sup>すぎうらひすい</sup>杉浦非水(1876-1965)。アール・ヌーヴォーやアール・デコの影響を受け、数々の名デザインを生み出しました。非水がデザインしたポスターや書籍、広告、商標等を一堂に展示し、その魅力に迫ります。

お問い合わせ先: ヤマザキマザック美術館 企画課 広報担当 西川 由佳里  
 TEL 052-937-3737 / FAX 052-937-3789 / MAIL Yukari\_Nishikawa@mazak.co.jp

\*ご記入いただいた個人情報は、本件における諸連絡また今後の催事情報のご案内のみに使用し、許可なく第三者に開示することはありません。



<p>1</p> 	<p>5</p> 	<p>9</p> 
<p>キャプション 杉浦非水《三越呉服店 春の新柄陳列会(みつこしタイムス)》1914年 リトグラフ・紙 愛媛県美術館</p>	<p>キャプション 杉浦非水《銀座三越 四月十日開店》1930年 オフセット・紙 愛媛県美術館</p>	<p>キャプション 杉浦非水《白地鈴蘭に鳥模様長襦袢》1913-16年頃 染、絹(縮緬) 神戸ファッション美術館</p>
<p>2</p> 	<p>6</p> 	<p>10</p> 
<p>キャプション 杉浦非水《三越呉服店 新館落成》1914年 リトグラフ・紙 愛媛県美術館</p>	<p>キャプション 杉浦非水『みつこしタイムス』第8巻第5号 1910年 印刷・紙 ヤマザキマザック美術館</p>	<p>キャプション 杉浦非水《もくれん 木蓮》(『非水百花譜』第三輯)1929-34年 木版・紙 愛媛県美術館</p>
<p>3</p> 	<p>7</p> 	<p>11</p> 
<p>キャプション 杉浦非水《東洋唯一の地下鉄道上野浅草間開通》1927年 オフセット・紙 京都工芸繊維大学工芸資料館 AN. 2694-01</p>	<p>キャプション 杉浦非水『三越』第6巻第2号 1916年 印刷・紙 ヤマザキマザック美術館</p>	<p>キャプション 杉浦非水《はす蓮》(『非水百花譜』第六輯)1929-34年 木版・紙 愛媛県美術館</p>
<p>4</p> 	<p>8</p> 	<p>12</p> 
<p>キャプション 杉浦非水《岐阜長良川鶺鴒と納涼》1929年 オフセット・紙 愛媛県美術館</p>	<p>キャプション 杉浦非水『大阪の三越』第5年第5号 1929年 印刷・紙 ヤマザキマザック美術館</p>	<p>キャプション 杉浦非水『ツーリスト』第19年第2号 1931年 印刷・紙 ヤマザキマザック美術館</p>

## 会期中のイベント情報

\*美術館および会場入口での検温、手指の消毒にご協力ください。  
\*状況によってはやむなく中止する場合があります。  
最新情報につきましては事前に当館ホームページの「お知らせ」欄でご確認ください。

## 講演会 「杉浦非水の目と思考—『非水百花譜』を中心に」

日時 2023年12月2日(土) 10:00 受付開始 / 10:30 ~12:00  
講師 ながいたけし 長井 健 氏(愛媛県美術館専門学芸員)  
申込 11月2日(木)よりお電話(052-937-3737)にて承ります。  
定員 60名  
参加費 無料ただし要本展鑑賞券(半券でも可)  
開催場所 マザックアートプラザ(美術館北側隣接ビル)4階会議室

杉浦非水の出身地である愛媛県松山市にある愛媛県美術館は2023年11月に開館25周年を迎えます。充実した非水コレクションで知られており、本展にも180点余の作品・資料をご出品いただきました。

長年非水の調査研究を積み重ねてこられた愛媛県美術館専門学芸員・長井健氏に、非水の人となりや創作人生、そして、名品として名高い『非水百花譜』についてお話いただきます。

## ガイドツアー (会期中第2・4土曜日開催)

当館学芸員によるガイドツアー。展覧会の見どころをわかりやすく解説いたします。

日時 次の日程の10:30より約1時間  
2023年 …10月28日、11月11日、11月25日、12月9日、12月23日  
2024年 …1月13日、1月27日、2月10日、2月24日  
予約 不要  
定員 15名(先着順)  
参加費 無料ただし要当日鑑賞券

参加方法 本展の鑑賞券をお求め・ご呈示の上、参加証をお受け取りください。  
開始時刻の5分前までに、美術館1階ブルデルの彫刻《果物を持つ裸婦》の前にお集まりください。



## ナイトミュージアム「古の響き パリの Basson

～18、19 世紀フランス式ファゴットの變遷～

日時 2024 年 1 月 13 日(土)

17:45 受付開始 / 18:15 開演 / 19:15 終演予定

会場 ヤマザキマザック美術館 5 階展示室

出演者 鈴木 禎<sup>ただし</sup> (ファゴット、バソン)、高橋 弘治(チェロ)

費用 友の会会員 ¥2,000(税込) 一般 ¥4,500(税込) ※一般申込者には本展覧会の当日券付き

曲目 J.B.de ボワモルティエ / ソナタ、E. オズィ / ソナタ 他

※曲目は都合により変更になる場合がございます。

申込 12 月 19 日(火)より美術館 1F 受付、もしくはお電話(052-937-3737)にて承ります。 ※友の会会員様には先行してご案内致します。 ※未就学児のご参加はご遠慮ください。

※キャンセルは、1 月 11 日(木)の 17 時までにお電話にてご連絡ください。

以降は取消料(費用全額)を後日申し受けますので、あらかじめご了承ください。

“Basson(バソン) “とは

フランス式ファゴットのこと。一般にファゴットと呼ぶときはドイツ式を指す。重厚感のあるファゴットに比べ、バソンは軽やかな音色である。



鈴木禎氏

**美術館ご紹介**

ヤマザキマザック美術館は、ヴァトー、ブーシェ、フラゴナール、シャルダンといったフランスのオールドマスターをはじめとするロココの時代から、ロマン主義を代表するドラクロワ、新古典主義のアングル、写実主義、印象派、エコール・ド・パリ等、18世紀から20世紀に至るフランス美術300年の流れを一望する構成となっています。

また19世紀末にフランスを中心に花開いたアール・ヌーヴォーの代表的な作家であるガレをはじめとする、様々な作家達のガラス工芸品、家具を展示しています。

棚や椅子、テーブル、暖炉、壁面フレームと一部屋まるごと完備したアレクサンドル・デュマのダイニングルームをはじめ、マジョレルやガレといった作家たちの家具は、往時の雰囲気をそのままに、部屋を訪れたお客様が、ゆっくりと作品に向き合えるよう心がけて、展示しています。ガラス工芸においては、工芸の枠を超えて芸術表現に挑んだガレの晩年の作品を多数所蔵しており、その充実した作品群は、日本の美術館が所蔵するガレのコレクションの中でもとりわけ注目される存在です。







PRESS RELEASE

レトロ モダン おしゃれ 杉浦非水の世界

 ヤマザキ マザック 美術館  
THE YAMAZAKI MAZAK MUSEUM OF ART  
〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵 1-19-30  
TEL:052-937-3737 FAX : 052-937-3789